

山梨県若者海外留学体験人材育成事業（高校生コース）

留学（中間・結果）報告書

私は2018年8月6日成田空港からアメリカのイリノイ州ベアーズタウンに旅立った。ずっと夢見ていたアメリカの地で11か月の留学生活を行うためだ。私は中学1年生の時に韮崎市姉妹都市派遣事業でカリフォルニア州のフェアフィールドへ3週間ホームステイをさせていただいた。その時の空気感や、現地の物おじせず意見を言う同世代の高校生に感化され、いつかこの地で学びたい、生活したいと強く思うようになった。

12時間のフライトを終え、乗り換えの飛行機が飛ばないことが放送されたのは夜の8時位だったと思う。一気に不安な気持ちが押し寄せてきた。その日は留学団体の手配でホテルに泊まることができた。翌日スプリングフィールド行きの飛行機は無事飛び立った。スプリングフィールドに到着後、スーツケースをピックアップしようとターンテーブルの前で待った。しかし荷物が出てくることはなかった。ロストバゲージだ。私はつたない英語で空港職員に事情を話し、荷物が見つかったら届けてもらえることになった。空港で待っててくれたホストファミリーの顔を見た時、本当に安心して緊張がとかれていくのを感じた。到着までの沢山のアクシデントのおかげでか分からないが、ホストファミリーが本当の家族のように思えるのに時間はかからなかった。

私の留学先のイリノイ州ベアーズタウンはメキシコ人と白人黒人アジア人が同比率で共存するまさに人種のるつぼといえる地域である。このため、私は外見的には学校で目立つことはなく、逆に留学生と自ら言わないと気づいてもらえないこともあった。これを逆に利用して「自分は日本からきた留学生なんだよ」と積極的に話しかけることにした。1か月もすると自分を知ってくれる人が多くなり友人も次第に増えていった。その頃ホームカミングというアメリカ高校で一番大きなイベントが行われることになった。ダンスパーティをしたり学校の周りをパレードしたり、アメリカの高校生たちが楽しみにしている1年に一度のイベントである。ホームカミングコートという学年の代表を生徒の投票で決めるのだが、まさか自分が選ばれると思わず、聞いた時には本当に驚いた。オープンカーに乗ってパレード先頭で参加したり、壇上で発表されたり、本当に良い経験をさせてもらった。



ホームカミングのパレード



サッカー部の友人達と

山梨県若者海外留学体験人材育成事業(高校生コース) 留学結果報告書

アメリカの授業は学ぶというより造るという言葉がしっくりくる。私が一番印象に残っている授業は生徒達が民主党、共和党、独立党に分かれてその中で大統領候補を選び選挙ポスターを作ったり、CMを作り、本気の疑似大統領選が行われた授業である。生徒達は最終的にはどの党に投票するか、それまでに様々な意見を言う。時には意見が変わることもある。真剣に考えるというより、政治を自分のこととして当たり前を受け止めて理解を深めているように感じた。日本では政治について考えたことはあまりなかったが、私達世代が当たり前前に考えることが必要だと思った。

私は YFU という交換留学団体を通して留学をしたのだが、YFU は日本だけでなく様々な国にある。イリノイ州にも各国の高校生が留学をしている。オリエンテーションが何度かあり、他国の留学生と話す機会があった。まず驚くのが英語力の高さだ。英語が第一言語でない国の子達ばかりだが、きっとその中で自分が一番英語力低くかっただろう。日本に居る時は比較的英語は得意な方であったが、全く足元にもおよばなかった。フィンランドから来ている留学生に、フィンランドは学力が世界一、英語力も素晴らしいのはどうしてだと思うか聞いてみた。フィンランドは宿題もなければ学校が終わる時間もとても早いそうだ。なので自分にもどうしてなのか分からない、と言っていた。今まで自分が受けていた教育に疑問をもつことはなかったが、もっと効率的に学力や語学力も身に着ける方法があるのではないかと考えるようになった。これから教育を受ける世代へ自分ができることがあるのかもしれない、と思うようになった。



YFU 各国の留学生たちとニューヨークへ

この留学を終えて、自分の意志と行動次第で自分が置かれている環境や局面は

山梨県若者海外留学体験人材育成事業(高校生コース) 留学結果報告書

どうにでも変えることができるということを学んだ。最初は周りに日本人留学生もいない状況で孤独を感じた。そんな状況で「何も動かなければ局面は全く変わらない」と思い、自分の感情や自分のやりたいことを積極的に学校の生徒に話すようにした。すると徐々にコミュニケーションが取れるようになり、自分の置かれている環境も変わっていった。そして日本に居たら気付くことがなかった自分が当たり前だと思っている環境へ、感謝とともに疑問も同時に感じた。この気づきを将来を決めるときの糧にしたいと思う。

これから留学をしようか迷っている人達へ。留学してみたいと漠然と思っている人は沢山いると思う。立派な理由がないとしないような気がしているかもしれない。でも、留学してみたいという強い意志と行動力があれば、きっとかけがえのない経験ができるはずだ。その一歩を踏み出して欲しいと思う。